

(3) メカニクス系工学専攻 博士前期課程

分野	授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員
		必修	選択 必修	選択	
材料・プロセッシング・ 材料強度学	固 体 力 学 特 論		2		教授 博(工) 坂 田 誠一郎
	破 壊 力 学 特 論		2		教授 博(工) 和 田 義 孝
	複 合 材 料 プ ロ セ シ ャ 工 学 特 論		2		教授 博(工) 淺 野 和 典
	機 械 材 料 工 学 特 論		2		教授 博(工) 仲 井 正 昭
	信 頼 性 工 学 特 論		2		講師 博(工) 穴 戸 信 之
エネルギー・流れ	熱 工 学 特 論		2		教授 博(工) 瀧 端 学
	再生可能エネルギー・環境特論		2		教授 博(工) 井 田 民 男
	熱エネルギーシステム工学特論		2		教授 博(工) 澤 井 徹
	環 境 流 体 工 学 特 論		2		教授 博(工) 鈴 木 直 弥
	流 体 工 学 特 論		2		教授 博(工) 道 岡 武 信
	内 燃 機 関 工 学 特 論		2		准教授 博(工) 瀬 尾 健 彦
	流 体 力 学 特 論		2		講師 博(工) 橋 本 知 久
機力・制御	シ ス テ ム 制 御 工 学 特 論		2		教授 博(工) 小 坂 学
	精 密 機 械 工 学 特 論		2		教授 博(工) 原 田 孝
	ロ ボ ッ ト 構 成 学 特 論		2		准教授 博(工) 大 坪 義 一
	機 械 振 動 学 特 論		2		准教授 博(工) 田 浦 裕 生
	セ ン シ ン グ 学 特 論		2		講師 博(工) 池 田 篤 俊
設計・生産加工	動 力 伝 達 シ ス テ ム 特 論		2		教授 博(工) 東 崎 康 嘉
	創 製 加 工 学 特 論		2		教授 博(工) 西 藪 和 明
	機 械 機 能 設 計 特 論		2		准教授 博(エネルギー科学) 梶 原 伸 治
	生 産 マ ネ ジ メ ン ト 工 学 特 論		2		准教授 博(工) 竹 本 康 彦
	先 端 加 工 シ ス テ ム 工 学 特 論		2		准教授 博(工) 藤 田 隆
	ヒューマンマシンインタフェース特論		2		准教授 博(工) 谷 田 公 二
特別研究	メカニクス系工学特別研究	12			各専修科目担当教員
専門基礎科目	メカニクス系学際講義Ⅰ 材料・プロセッシング・材料強度学分野		2		教授 博(工) 坂 田 誠一郎 教授 博(工) 和 田 義 孝 教授 博(工) 淺 野 和 典 教授 博(工) 仲 井 正 昭 講師 博(工) 穴 戸 信 之
	メカニクス系学際講義Ⅱ エネルギー・流れ分野		2		教授 博(工) 瀧 端 学 教授 博(工) 澤 井 徹 教授 博(工) 鈴 木 直 弥 教授 博(工) 道 岡 武 信 准教授 博(工) 瀬 尾 健 彦 講師 博(工) 橋 本 知 久
	メカニクス系学際講義Ⅲ 機力・制御分野		2		教授 博(工) 小 坂 学 教授 博(工) 原 田 孝 准教授 博(工) 大 坪 義 一 講師 博(工) 池 田 篤 俊

分野	授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員	
		必修	選択 必修	選択		
専門基礎科目	メカニックス系学際講義Ⅳ 設計・生産加工分野		2		教授 博(工) 東 崎 康 嘉 教授 博(工) 西 藪 和 明 准教授 博(エネルギー科学) 梶 原 伸 治 准教授 博(工) 竹 本 康 彦 准教授 博(工) 田 浦 裕 生 准教授 博(工) 藤 田 隆 准教授 博(工) 谷 田 公 二	
		実践科学技術英語演習Ⅰ			1	非常勤講師 中 山 裕 木 子
		実践科学技術英語演習Ⅱ			1	
		実践科学技術英語演習Ⅲ			1	非常勤講師 中 山 裕 木 子 准教授 教育学修士(TESOL) トラスコット ジョージ
		実践科学技術英語演習Ⅳ			1	
		学 際 研 究			2	
		課 外 セ ミ ナ ー			2	
共通	特 別 講 義 Ⅰ		2	(不開講)		
	特 別 講 義 Ⅱ		2	客員准教授 博(工) 納 富 昭 弘		
	大学コンソーシアム大阪単位互換科目(センター科目)		2			
			2			

〈履修方法〉

1. 2年以上在学し、選択必修科目の授業科目の中から選択した1科目講義2単位(これをその学生の専修科目とする。)と特別研究12単位を必修とし、さらにメカニックス系学際講義Ⅰ～Ⅳから6単位、専修科目以外の選択必修科目、選択科目の中から10単位以上、合計30単位以上を修得しなければならない。
2. 指導教員が当該学生の教育、研究上特に必要と認めた場合には、他の専攻、他の研究科または、他の大学院および大学コンソーシアム大阪(センター科目)から修得した授業科目の単位については、8単位を限度として所定の単位数に充当することができる。